

J S N オランダ連携プロジェクト調印式について

日時 平成 29 年 10 月 10 日（火）午後 4 時から 6 時まで

場所 在日オランダ大使館 大使公邸

調印の様子



写真右：（左から）アルト・ヤコビ駐日オランダ王国大使、近藤やよい足立区長、大東和美日本スポーツ振興センター（J S C）理事長、ジェラード・ディールセン NOC * NS F 事務局長、多田正見江戸川区長、丸山浩一西東京市長

ジェラード・ディールセン NOC * NS F 事務局長からは、障害者が直面している様々な課題は、スポーツの力で解決できるとのスピーチがありました。また、オランダと日本とが知識を共有し、世界中の共生社会につながるプロジェクトにしたいとのお話がありました。

出席者記念写真



来賓挨拶として、エステル・フェルヘル選手（オランダパラリンピアン）（前列一番左）からは、8歳の時に下半身不随の障害を負ったが、スポーツを楽しむところから始め、スポーツクラブやトレーナーなど様々な組織との関係を作ってくれる環境が周りにあったからこそ、パラアスリートになることができ、自らの人生を作ることができたとのスピーチがありました。

また、豊田まみ子選手（日本人パラバドミントンアスリート）（前列一番右）からは、パラバドミントンを通して、国内外の多くの方々と出会い、つながったことで人生が豊かなものになったとのスピーチがありました。東京パラリンピックでは初代パラバドミントンの金メダルを目指すとの抱負を伺いました。